

「落語展～ひとつおつきあいを願います～」の実施報告について

- 1 開催期間：2025年1月18日（日）～3月23日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：6,390人／55日間  
(1日平均：116人)
- 4 特別協力：柳亭小痴楽
- 5 協力：講談社「BE・LOVE」、渋谷らくご（ユーロライブ）、  
雲田はるこ、古今亭菊志ん、柳亭信楽、佐藤紫衣那、  
橘右雀、浅草演芸ホール、新宿末廣亭、タカオカ邦彦、  
ハヤシコウキ

6 開催報告

テレビやラジオなどでも楽しめる身近な芸能として親しまれてきた落語は、近年漫画や小説、アニメ、ドラマなどのテーマとしても取り上げられ高い人気を得ています。本企画展では落語の魅力や知識に触れながら名作落語を取り上げ、落語の楽しみをご紹介する展示を実施しました。

落語漫画として人気を博している『昭和元禄落語心中』の資料をはじめ、現役落語家の柳亭小痴楽師匠が実際に使用している落語の道具やネタ帳などの貴重な資料を借用・展示したことにより、漫画作品のファンの方や落語好きの方に多くご来館いただきました。また、『昭和元禄落語心中』のミュージカル公演期間が本展と重なったことにより、ミュージカル鑑賞前に展示を見に来たという方も多く見受けられました。

本企画展により、落語の基礎的な知識を教示し、落語鑑賞への関心を促すことへ繋がったと考えます。

(1) 関連事業

実施日	タイトル	参加人数
1月18日	展示解説	12人
2月5日		25人
3月23日		45人
2月2日	落語会「柳亭信楽新作落語会」	67人
2月9日	講演会「今すぐ落語がみたくなる鑑賞術！」	63人
2月22日	寄席文字を書いてみよう！橘流寄席文字体験講座	15人
3月1日	落語会「柳亭小痴楽落語会」	165人

(2) 資料

複製原画：45点／『昭和元禄落語心中』関係資料：6点／  
落語関係資料：21点／雑誌：15点／書籍：50点

(3) パブリシティ

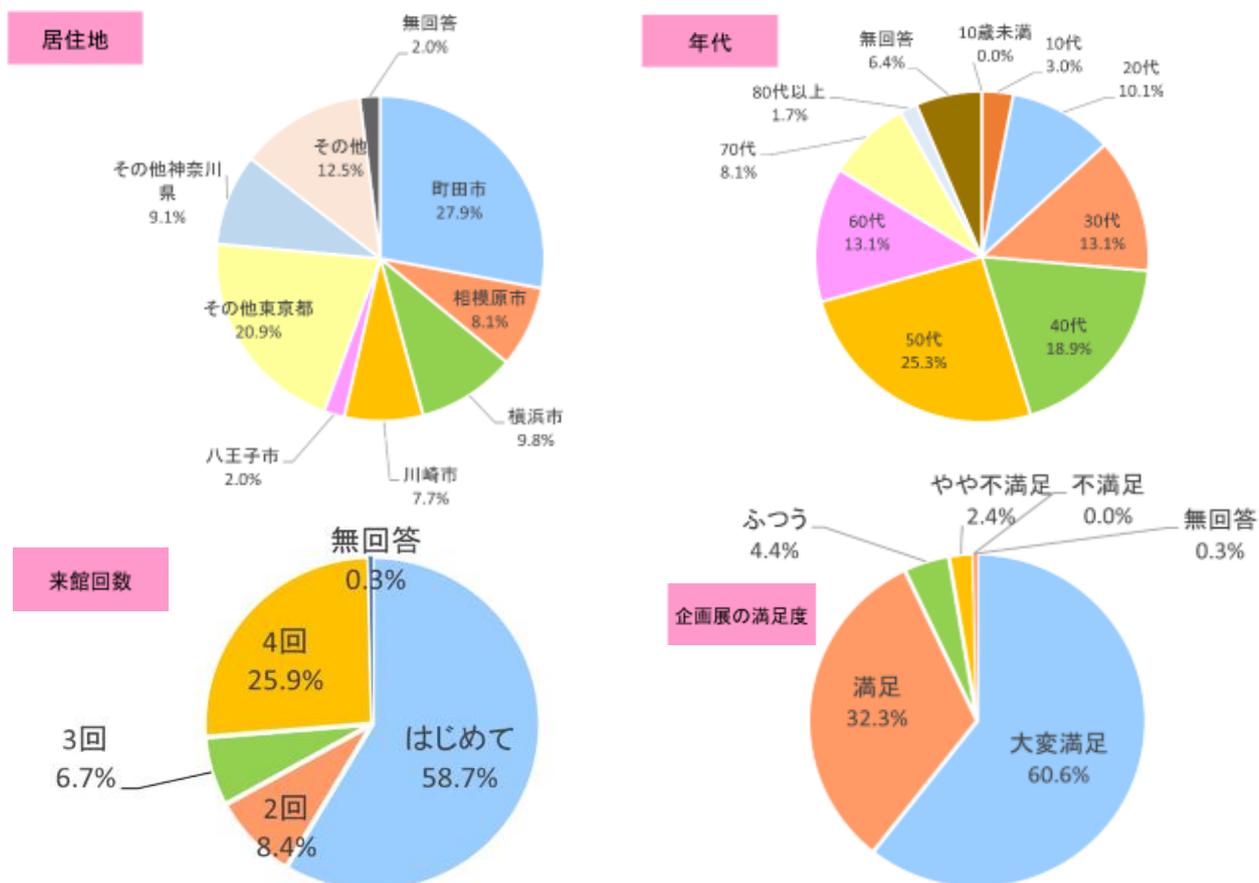
- ・ポスター・チラシ
- ・『広報まちだ』、『生涯学習 NAVI』
- ・町田市公式 HP、SNS (X、Instagram)
- ・「読売新聞」大手小町、
- ・イッツコム地モトニュース
- ・ジパング倶楽部 WEB
- ・『東京かわら版』2025年1月号～3月号

#### (4) 来館者アンケート

来館者の傾向として、居住地は町田市内からの来館者が最も多く 27.9%、次いで町田市以外の都内が 20.9% でした。その他、相模原市、横浜市など全体的に近隣他市からの来館者が多い傾向を示しました。年代は 50 代が最も多く 25.3%、その他の年代では 20 代から 60 代までがいずれも 10%～18% 程度を占め、幅広い年齢層の方にまんべんなくご来館いただくことができました。

来館者の 92.9% の方から満足の評価を得ることができ、「『落語心中』が好きで展示を通してますます落語に興味を持った」、「ネタ帳や原稿などの貴重な資料を見れてよかった」などの感想をいただきました。ミュージカルで話題の『昭和元禄落語心中』の資料や、現役落語家の持ち物や暮らしを見せることにより、落語により親しみを持っていただくことができたのではないかと思います。また、「名人と現役の台詞の違いに驚いた」など、他では見られない噺家による言い回しの違いを見せる展示が注目を集めました。

#### ■ アンケート集計より



■ 展示会場風景

